

施設概要

施設名称	名古屋市北名古屋工場
施設能力	可燃ごみ…660t/日 (330t/日・炉×2炉) 不燃ごみ/粗大ごみ…50t/5時間
処理方式	シャフト炉式ガス化熔融炉
敷地面積	25,708.33 m <sup>2</sup>

北名古屋工場の特徴

埋立量ゼロを目指して

北名古屋工場は、名古屋市と北名古屋市、豊山町で出たごみを処理する施設です。これらの地域から運ばれた可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみを1,800度の熔融炉で溶かし、スラグやメタルなどの資源として活用することで、ごみの埋立量をゼロにすることができます。可燃ごみは1日に最大660トン进行处理することができます。

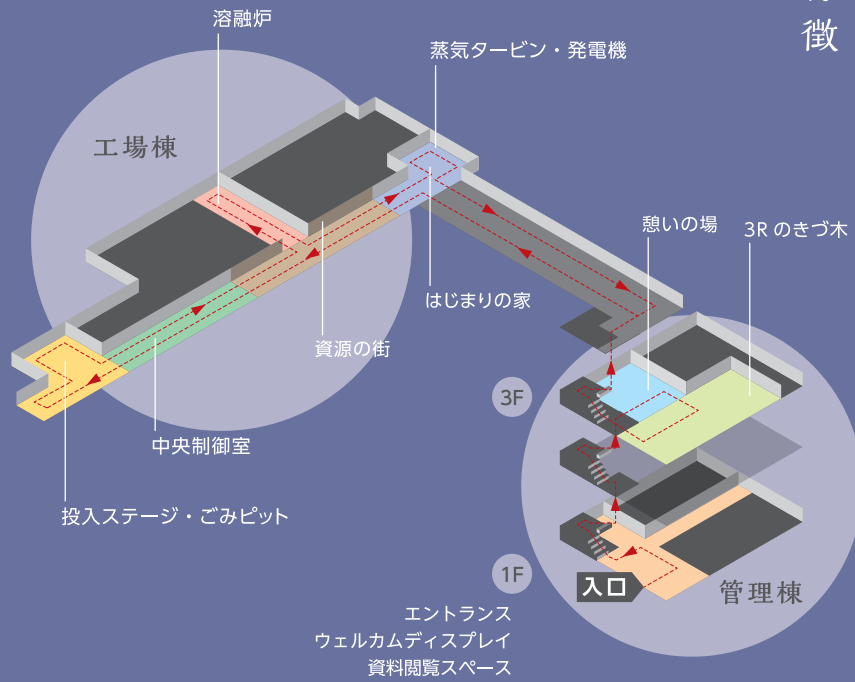
エネルギーをつくる工場

北名古屋工場では、ごみを処理する時に出る熱を利用して、電気を作っています。作られた電気は工場内で使用し、余った電気は売却しています。また、屋上にあるソーラーシステムで、太陽光発電も行っています。

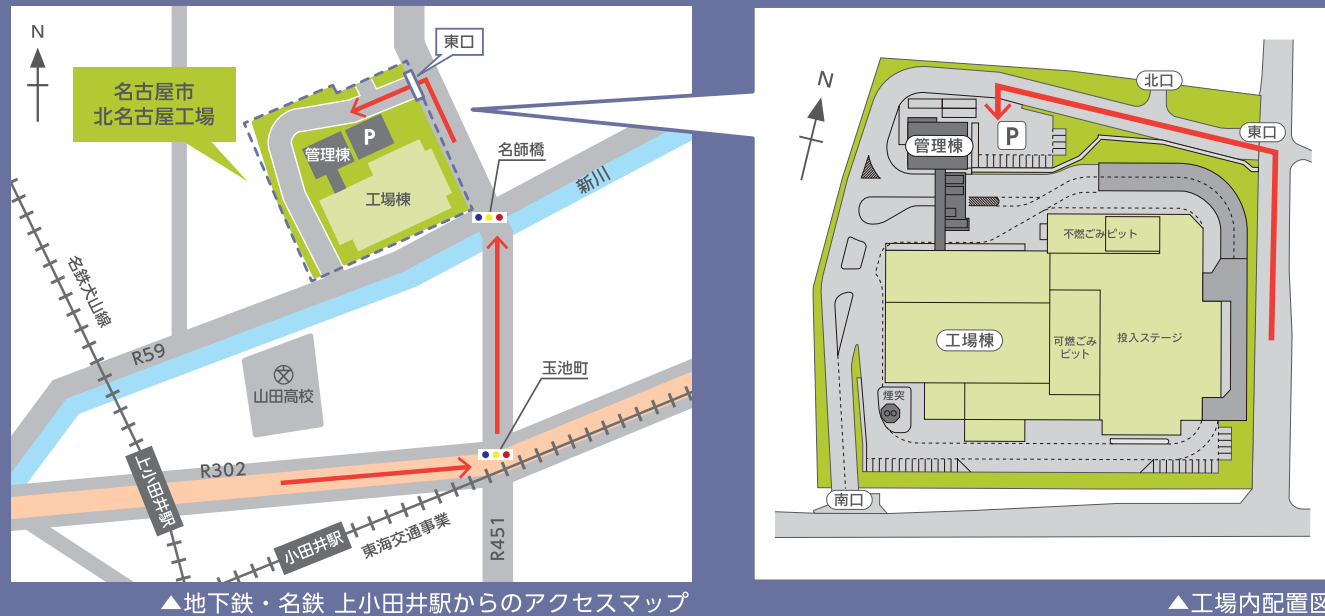
環境にやさしい工場

ごみを溶かした排ガスを、ろ過式集じん器等により有害物質を取り除き、きれいにして煙突から排出します。適切な環境保護対策を実施し、環境にやさしい工場を目指しています。

見学スペースのご紹介



周辺区域地図



株式会社 北名古屋クリーンシステム  
〒481-0013 愛知県北名古屋市二子四反地15-1  
TEL 0568-22-9300

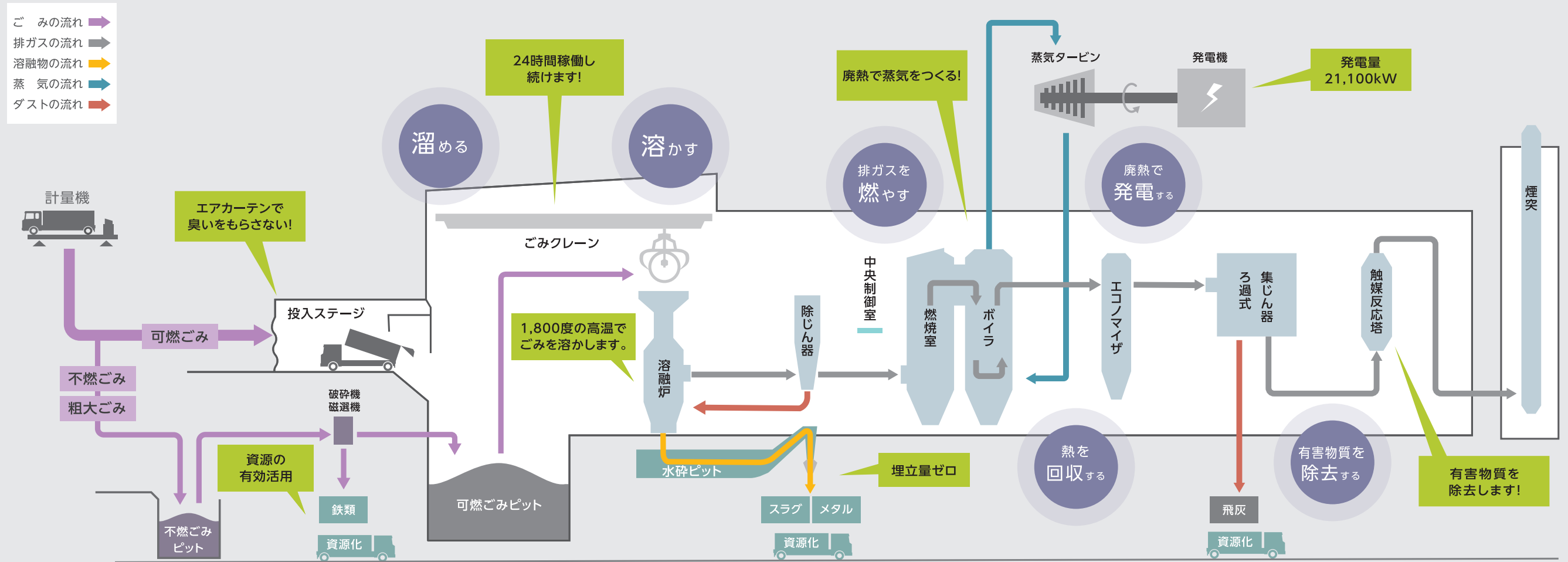
名古屋市環境局工場課  
TEL 052-972-2382



名古屋市  
北名古屋工場







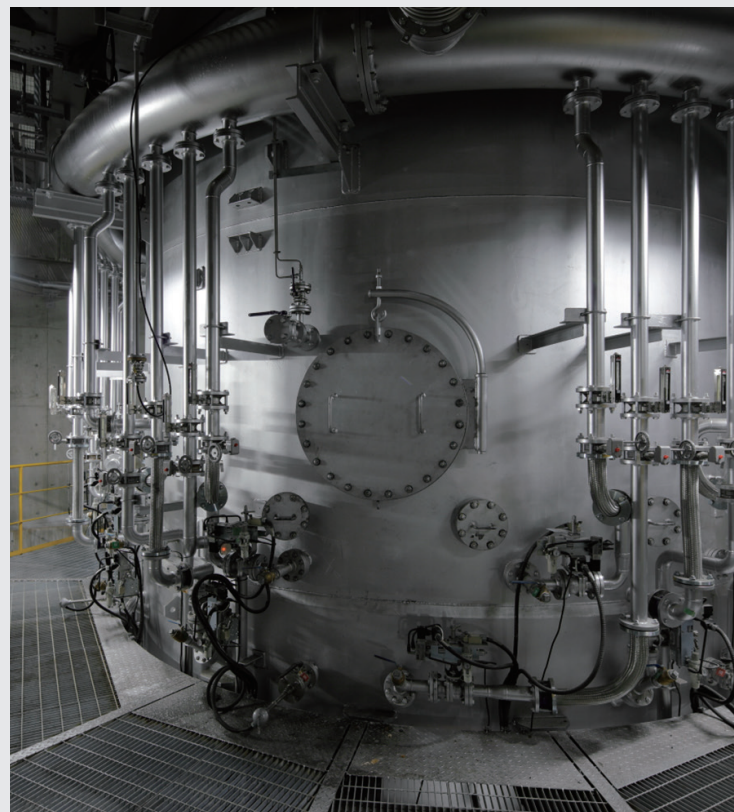
### 投入ステージ

収集車は、計量機で重さを量った後、投入ステージに入り、ごみ投入扉から「ごみピット」にごみを投入します。また、投入ステージの出入口には、エアカーテンが設置されており、臭いが外部に漏れない工夫をしています。



### ごみピット

可燃ごみピットは、約5,000トンのたくさんのごみを溜めることができます。ごみが均一に熔融できるよう、ごみクレーンで十分に混ぜ合わせた後、熔融炉に投入しています。不燃ごみと粗大ごみは、砕いて鉄類を取り出した後、熔融炉へ投入します。



### 熔融炉

熔融炉に投入されたごみは、1,800度の高温で熔融処理します。熔融物は1時間に1回炉外に取り出され、水砕ピットで瞬時に冷却した後、スラグ、メタルとして再資源化されます。また、除じん器で熱分解ガスの除じんを行い、回収した可燃ダストを熔融炉に吹き込むことでコークス使用量を削減しています。



### 燃焼室・ろ過式集じん器・触媒反応塔

燃焼室で熱分解ガスを完全燃焼し、ダイオキシン類を分解します。また、ろ過式集じん器、触媒反応塔等の装置により、排ガスに含まれる細かいばいじんや塩化水素、窒素酸化物、硫酸酸化物等の有害物質を除去します。



### ボイラ・エコノマイザ・蒸気タービン・発電機

ボイラ、エコノマイザでは、ごみを溶かした廃熱で熱交換し、蒸気をつくります。その蒸気は蒸気タービン、発電機へ送られ、21,100kWの電気を発電しています。なお、低温エコノマイザを設置することにより熱回収率を向上させています。また、タービン排気を温水の昇温に利用することによりエネルギー回収率をさらに高めています。



### 中央制御室

中央制御室では、この施設を安全に運転するために、すべての機械の運転状況を24時間「監視」「操作」しています。